

鳥取市

(有)とうふ工房 雨滝



▲リヤカーで豆腐を販売するまめいちのスタッフ。固定客も増え、昔ながらのスタイルは、街の風物詩、として定着しつつある

<概要>

所在地/鳥取市国府町雨滝510
代表者/代表取締役 山野松美
事業内容/豆腐製品の製造販売
職員数/6人

あいサポート企業になったきっかけ

2007年に精神障がい者を雇用したのを機にメンタルヘルスの勉強をする中、地域の小規模福祉作業所で働く障がい者の賃金が、最低賃金の10分の1にも満たない現状を知った。豆腐の製造販売事業を通して作業所の賃金アップに貢献したいと08年、「豆一作事業」をスタート。10年には県のあいサポート運動第1期認定企業となり、障がいにより企業に雇用されることが困難な人たちに対し、職業能力の開発・習得と働く機会を提供し、将来の職業自立と社会活動の活性化を目指している。

実践事例

まめいち(鳥取市末広温泉町)



▲「豆一作事業」により開業したまめいち

2011年12月、就労支援センター和貴の郷と連携して立ち上げた、とうふ工房雨滝の商品を扱う店。店内での食事や豆腐の販売に加え、リヤカーに商品を積んで市街地を回る新しい試みも取り入れる。障がい者が新しい職場を確保できるよう、和貴の郷に通う障がい者とサポートする職員だけで運営できるよう指導。12年6月にオープンし、現在は同店が仕入れた豆乳を使った豆腐料理を提供している。

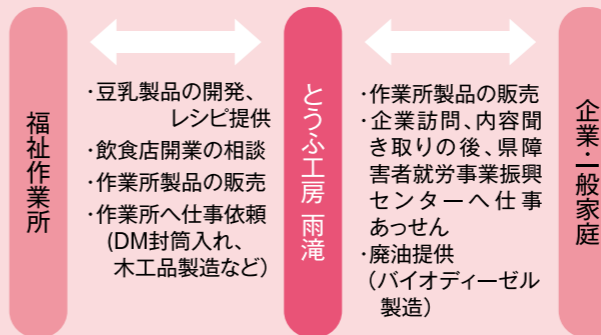
あいサポート運動の

取り組み内容

豆一作事業…豆一作とは「豆腐と一緒に作りませんか」の意味。福祉作業所にとうふ工房雨滝が製造した豆乳を原材料として納め、製造技術や経営指導、商品開発を支援する。作業所で作ったクッキーやコーヒーカップなどの製品は工房で買い取り、店舗で販売する。

<連携している福祉作業所>
ふたば作業所(鳥取市雲山)、和貴の郷(鳥取市河原町)、大平園(湯梨浜町長和田)

できたて豆腐の販売



活動を行って

苦労したこと、工夫したこと

生ものを扱う仕事なので、「(やりたいが)福祉作業所の利用者に合わないのでは」と言われることが多い。対面が苦手な人は作ることに特化し、元気な人は販売に従事できる。事業概要の説明では、作業所の実情に合った提案をするよう心がけている。

代表者のコメント

代表取締役 山野松美



福祉作業所で働く障がい者の実態を一つでも多くの企業に知ってもらい、作業所との連携事業を広めたい。そのことが多様な障がいがあることやあいサポート運動の普及、全ての人が共に生きる地域社会の実現につながればうれしい。



▲とうふ工房雨滝内で販売している福祉作業所の製品

今後の展望、目標

おいしい豆乳さえあれば、おいしい豆腐は作れる。大豆から豆乳を作る一番難しい行程はカットしているの、まずは一緒に豆腐を作ることから始めてほしい。最終目標は自社の豆乳を使ったオリジナルの豆腐を作ること!

●問い合わせ・連絡先
TEL0857-58-0770
FAX0857-58-0778